

てだこ浦西駅交通結節機能強化 整備計画（案）

目次

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景 | … p. 1 |
| 2. 整備方針 | … p. 4 |
| 3. 整備イメージ（具体的な機能） | … p.10 |
| 4. 整備手法と各実施主体の役割 | … p.24 |
| 5. 今後の検討について | … p.28 |

1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景

1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景

1-1. 検討の背景・目的

前回（第2回）検討会資料から変更なし

【沖縄都市モノレール、てだこ浦西駅の整備背景】

- 沖縄都市モノレールは開業から20年が経過、県民、観光客の足として利用され、まちづくりの推進や交通渋滞の緩和に大きな効果を発揮している。
- 終点のてだこ浦西駅については、沖縄自動車道との接続による広域交通軸を形成し、本島中北部地域からの定時・定速性、時間短縮等の利便性向上の観点から整備された。



【現状の課題】 ※詳細は次ページ参照

- 現時点において、てだこ浦西駅は各交通機関との結節機能が不十分であり、広域的な利用の観点から改善が求められている。
- 駅周辺のまちづくりが進むなか、交通結節機能の強化・利便性向上・にぎわい創出等が求められている。



【整備計画の検討】

沖縄都市モノレールてだこ浦西駅（駅周辺の交通広場及び高架下等を含む）の交通結節機能強化に関する整備計画の策定に向け、駅に求められる乗換機能の強化及び利便性向上、賑わい創出等に関して、多様な意見を取り込みながら検討に取り組む。

■本島の骨格を形成する公共交通体系



モノレールと沖縄自動車道の接続により、那覇市中心部と本島中北部を結ぶ広域交通軸の拠点として機能

出典：沖縄県総合交通体系基本計画(R4年10月)

交通結節点のイメージ

交通結節点とは、複数の交通手段をつなぐ施設であり、快適性・利便性の向上が求められるほか、近年、都市化の進展に伴い、求められる機能も多様化している。

出典：沖縄県総合交通体系基本計画(R4年10月)



1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景

1-2. 上位関連計画（てだこ浦西駅に求められる機能）

前回（第2回）検討会資料から変更なし

3

指針

（交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R3年4月））

交通拠点に求められる具体的な機能として、交通機能（基本機能、交通結節機能）、防災機能、交流等機能（地域の拠点・賑わい機能、サービス機能、景観機能）がある。¹⁾

県の上位計画

（沖縄県総合交通体系基本計画（R4年10月）等）

- 幸地IC（仮称）との結節を図り、中部方面以北からの路線バスやP&Rによる利便性を高める²⁾⁴⁾
- パーク&ライド駐車場の利用促進、高速バスとの結節、シェアサイクル及びレンタカーとの連携²⁾³⁾⁵⁾
- ★ まちづくりと連携した交通結節点の整備を促進³⁾ 観光、私事や買物等の利用促進に向けた イベント実施の継続⁴⁾
- 観光二次交通の交通結節点の整備を促進³⁾
- バス停上屋の整備、デジタルサイネージ・動的データのオープン化⁵⁾

● 広域移動手段関係 ■ 駅の有する機能の関係 ▲ 浦添市内の周辺地域との連携関係 ★ まちづくり、賑わい関係

浦添市の関連計画

（浦添市地域公共交通計画（R6年2月）等）

- 総合交通結節点として整備（交通結節、交流機能、景観、防災等）
- ▲ 今後市内で検討する コミュニティバス、小型モビリティとの連携強化⁶⁾
- ★ 大型商業施設、フィットネス施設、オフィス等の誘致による 多機能拠点の形成（にぎわい）⁷⁾
- ▲ 地区内事業者の協力による 防災への取組⁷⁾

1)：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R3年4月 国土交通省道路局）

2)：新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（R4年5月 沖縄県）

3)：沖縄県総合交通体系基本計画（R4年10月 沖縄県）

4)：沖縄県地域公共交通計画（R6年5月 沖縄県）

5)：TDM施策推進アクションプログラム（R4年12月 沖縄県）

6)：浦添市地域公共交通計画（R6年2月 浦添市）

7)：てだこ浦西駅周辺スマートシティマスタープラン（R4年3月 浦添市）

主な目標

- ① 高速道路との結節・連携（各種バスとの結節、P&R促進、レンタカー連携等）
- ② 乗換機能強化（端末・二次交通との結節、多様なモビリティ確保、乗換案内強化）
- ③ まちづくりと連携した拠点形成（にぎわい創出）

2. 整備方針

2. 整備方針

2-1. てだこ浦西駅における現状と課題

前回（第2回）検討会資料から変更なし

【交通結節点としての現状】

- ▶ てだこ浦西駅の交通結節機能として、P&R駐車場や駅前広場は既に整備されているが、バスとの結節など多様な交通機能の確保や、観光機能、商業機能、情報発信機能などについては十分とは言えない状況である。



■ 交通結節点として考えられる機能とてだこ浦西駅の現状（参考）

交通結節点として考えられる機能 (H20年度業務にて整理した機能)		てだこ浦西駅の交通結節点としての現状（R6年度）	
交通結節・連携機能		△	P&R駐車場やK&R・タクシー・バスのバース整備済みだが、利用促進における課題あり
交流機能		△	交通広場で不定期のイベント開催はあるが、常時人が集うような施設等が不足
観光機能		×	観光案内等が不足
道の駅機能・商業機能		×	地元の土産物や地域の体験等は提供されず
情報発信機能		×	交通情報や魅力的な情報は提供されず
沖縄都市モノレールと沖縄自動車道との結節点における導入機能	パークアンドライド駐車場	○	駅隣接P&R駐車場整備済
	駅前広場	○	自家用車、バス、タクシー等の停車スペースあり
	モノレールとバスの結節施設及びバスターミナル	×	周辺にバス停が点在、バスターミナル機能は未達
	レンタカーデポ	×	レンタカーを集約する機能・場所等は存在せず
	交通・案内情報施設	×	所要時間などのリアルタイムの情報提供は存在せず
	道の駅機能	×	地元の土産物等の扱いなし

2. 整備方針

2-1. てだこ浦西駅における現状と課題

前回（第2回）検討会資料から変更なし

- **バス停点在**：駅前、駅近隣に**多様な方面の路線バス停があるが、それぞれが離れて点在**している
- **情報案内**：上記の点在バス停や、駅周辺のレンタカーや施設への**案内が不足**している
- **休憩施設**：駅及び周辺の**暑さや雨風をしのげる十分な待合室等がない**。



■周辺バス停の案内



- ✓案内チラシが分かりにくい
- ✓案内が統一されていない

※バス運行本数は令和7年7月時点の平日（時刻表より）

2. 整備方針

2-2. てだこ浦西駅に求められる機能

前回（第2回）検討会資料から**体裁更新**

➤ 現状・課題、上位計画やP I 及び検討会での**意見を踏まえ「てだこ浦西駅に求められる3つの機能」を整理**した。

上位計画・現状分析・PI及び検討会などから得られた意見（区分ごとに整理）

てだこ浦西駅に求められる機能

意見区分	現状分析・ヒアリング等	P I 及び検討会
二次交通の接続	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 駅利用者、来訪者からは、バスの遅延に対応したリアルタイム情報等のニーズが出ている ✓ バス事業者より、結節機能の強化の必要性は認識しつつ、現状路線の活用、利用増が優先と意見あり 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ P&R駐車場の不足を補う視点でも、公共交通や新たな交通へのシフトを目指す（近隣市町村からの駐車場利用動向を踏まえ） ✓ リアルタイム案内情報の整備 ✓ 高速バスとの連携（駅～高速バス停間の案内強化、動線快適性向上）
新たなモビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 駅利用者、来訪者などから、カーシェアや電動キックボード等のニーズが出ている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ レンタカー機能（受渡）などの整備 ✓ 駅～高速バス停間動線快適性向上
P&R駐車場、駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 来年度以降も駐車場利用者の増加は確実視され、P&R駐車場不足は確実 ✓ 利用者からも駐車容量増のニーズが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 幸地IC開業も見据えた受け入れ環境の整備 ✓ 近隣市町村からの移動手段について、自動車以外へシフトする方法を検討
賑わいの創出	<ul style="list-style-type: none"> ✓ カフェや飲食施設、休憩スペースなど、周辺開発では網羅できない施設、人が集まる空間、子供が遊べる空間など多様なニーズが見られる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日常利用の飲食・休憩施設の整備 ✓ てだこ浦西駅の目的化（非日常的な施設・体験）を目指す ✓ 高架下活用の視点も含め検討
観光面、防災面	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 来訪者からは、観光情報の提供充実、お土産品の充実等のニーズがある ✓ 関係者からは、本島中北部の広域観光情報だけでなく、浦添市内の観光情報の提供意向もある 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 安全安心な周辺のまちづくり（歩道環境、街灯、信号機等） ✓ てだこ浦西駅のブランディング

交通（乗換）機能の充実

広域拠点、地域拠点を目指し、バス等の二次交通の**機能拡大や集約、案内の充実、待合環境強化**が必要（駅周辺と連携したレンタカー機能等も配置）

周辺施設へのアクセス利便性向上のため、**多様なモビリティの充実**が必要

各駐車場の効率的な活用及び容量確保が必要（公共交通へのシフト策と併せて、駐車場の受入環境の整備に取り組む）

拠点形成機能の充実

利用者、市民、関係者から**賑わい施設の充実**が求められているため、**高架下や歩行空間を活用した施設、イベント等の実施**が必要（日常・非日常の使い方ができるよう目的化）

ランドマーク機能の充実

本島中北部への広域観光案内・防災機能の充実が必要 **+安全安心確保、ブランディング**

2. 整備方針

2-3. 整備方針

前回（第2回）検討会資料から変更なし

- ▶ てだこ浦西駅に求められる機能の充実を図るため、課題を整理し、必要な整備内容を整理。
- ▶ 整備においては、てだこ浦西駅を取り巻く環境の変化も踏まえ、段階的な整備を行うものとする。

てだこ浦西駅に求められる機能

課題

整備方針

短期的な整備目標

目指す変化

中長期的な整備目標

交通（乗換）機能

- バス（路線・高速・地域巡回）の結節強化
- 待合環境の整備、乗換案内の強化
- モビリティハブの整備
- レンタカー機能の配置
- P&R駐車場、駐輪場等の受入環境整備

拠点形成機能

- 高架下や交通広場を活用した、賑わい・滞留空間の創出（施設、広場）
- 目的毎に利用できる施設・体験等の提供
- まちづくりと連携し、若者や子育て世代も利用しやすい場の提供

ランドマーク機能

- 観光や災害情報等の提供
- 安全、安心なまちづくり（防災機能の確保、子育て支援機能の充実）
- ブランディング（てだこ浦西らしさ）

- ✓ 路線バスの停留所が駅周辺に点在しており円滑な乗換が不十分
- ✓ 駅から高速バスの停留所へのアクセス利便性が低い
- ✓ 乗換案内やバス等の待合環境が不十分
- ✓ 駅周辺への移動手段が少ない
- ✓ P&R駐車場、駐輪場の利用が増加し、駐車容量がひっ迫

- ✓ コンビニやカフェ、コワーキングスペースの要望あり
- ✓ 交通広場へのキッチンカー設置、イベント開催などの要望
- ✓ 人が集まる拠点整備が望ましい

- ✓ 観光案内所の設置要望
- ✓ 自治体の計画における防災機能の位置づけあり

- 駅構内・交通広場・駅周辺での乗換案内充実
- レンタカー機能配置
- P&R駐車場、駐輪場等の改善・強化
- モノレール&バスの結節強化の取組推進

- 日常的な飲食・休憩施設の提供
- にぎわい・交流イベント等の定期開催

- 情報発信機能（観光案内・災害情報）の提供
- 安全・安心の確保

駅利用者数の増加

二次交通の利用増

自動車利用から公共交通利用へ転換

人口、来訪者の増加

区画整理事業の進展

観光客の増加

- 周辺バス路線を集約し、モノレールとの接続を強化、待合環境整備
- モビリティハブの整備
- P&R駐車場、駐輪場の受入環境強化

- 高架下の賑わい施設の配置（非日常型含む）
- 周辺の複合施設、商業施設と連携したまちづくり（若者や子育て世代が集う場の提供）

- 観光案内・防災機能の確保
- 安全、安心の確保（子育て支援機能等）

ブランディング（てだこ浦西駅らしさ）

2. 整備方針

2-3. 整備方針（コンセプト）

今回追加資料

コンセプト
1

モノレール・バス・レンタカーほか多様なモビリティツールが集約し、多方面にシームレスな乗り継ぎ環境を構築

コンセプト
2

日常生活に必要な機能が集積し、目的地としても訪れたいような「賑わい」と「コミュニティ」を創出

コンセプト
3

観光案内・災害情報等の発信機能を備え、誰もが便利かつ安全安心な利用空間を提供



イメージ図：交通結節点として目指す姿

※1：沖縄県総合交通体系基本計画

交通機能（乗り継ぎ環境）

- バス（路線・高速・地域巡回）の結節強化
- 待合環境の整備、乗換案内の強化
- モビリティハブの整備
- レンタカー機能（受渡）の配置
- P&R駐車場、駐輪場等の受入環境整備

3つの機能が連携

拠点形成機能（にぎわい創出）

- 高架下や交通広場を活用した、賑わい・滞留空間の創出（施設、広場）
- 目的毎に利用できる施設・体験等の提供
- まちづくりと連携し、若者や子育て世代も利用しやすい場の提供

ランドマーク機能

- 観光や災害情報等の提供
- 安全、安心なまちづくり（防災機能の確保、子育て支援の機能充実）
- ブランディング（てだこ浦西らしさ）



イメージ図：交通ネットワーク強化

3. 整備イメージ（具体的な機能）

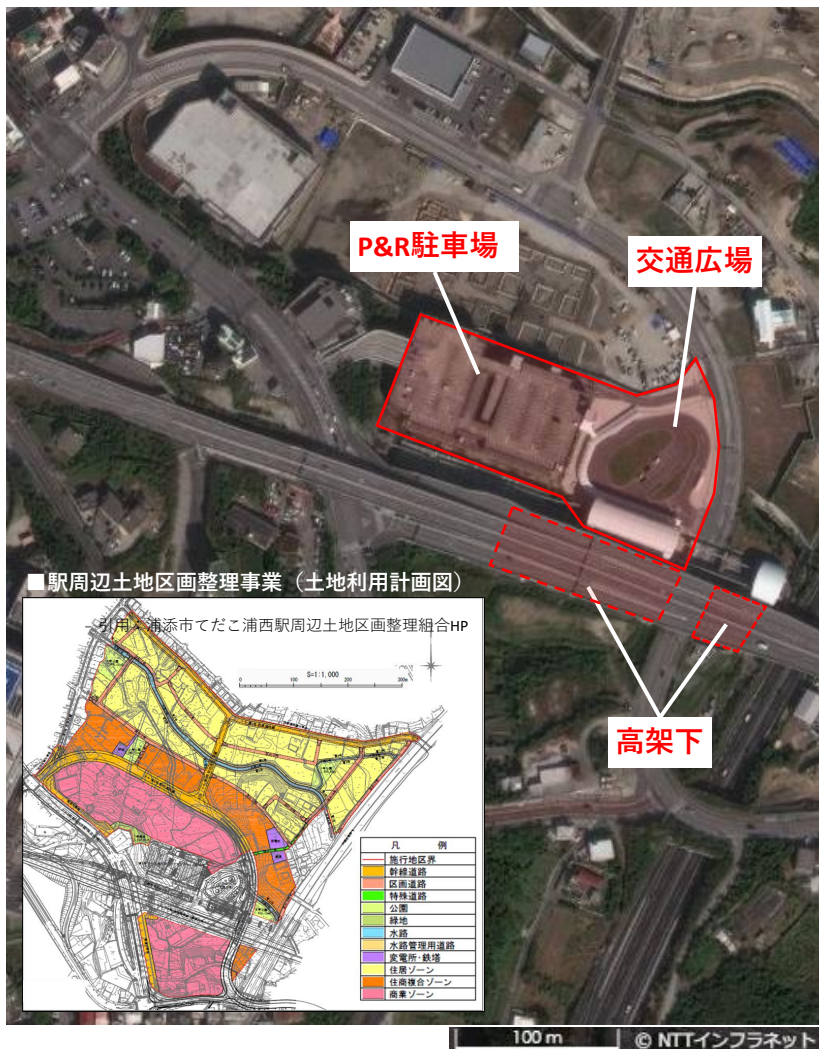
3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-1. 整備計画対象範囲

前回（第2回）検討会資料から変更なし

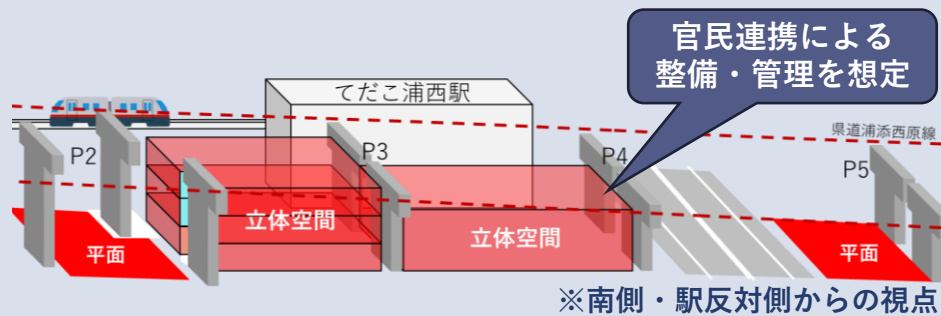
- てだこ浦西駅交通結節機能強化における**具体的な検討の範囲は、てだこ浦西駅・駅前交通広場・浦添西原線高架下**の空間。
- 駅周辺では区画整理事業が進展中。（てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業）

■ てだこ浦西駅交通結節機能強化検討範囲



■ 駅横の高架下空間（県道浦添西原線）

- 駅周辺に必要な機能を確保するため、空間の有効活用を図る。
- 高架下においては、立体的な配置が可能であるため、交通機能・にぎわい機能・情報機能等を階層的に配置。

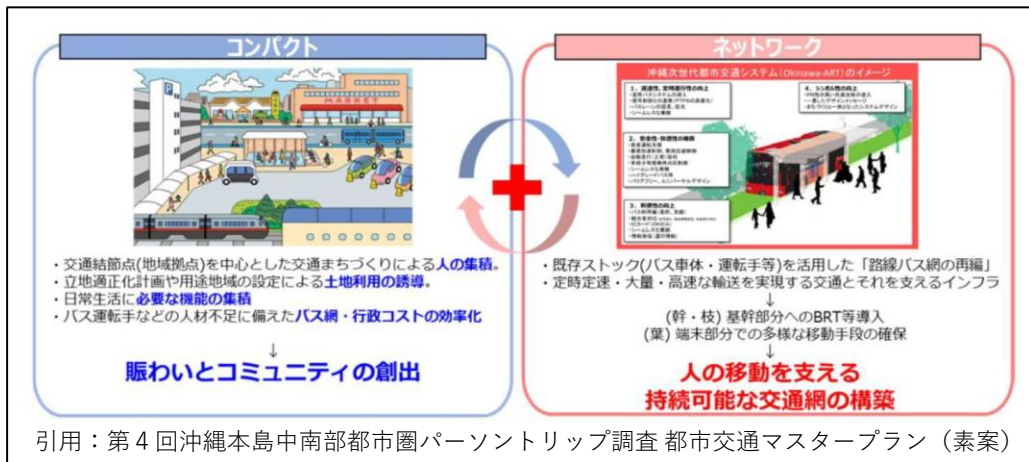


3. 整備イメージ（具体的な機能）

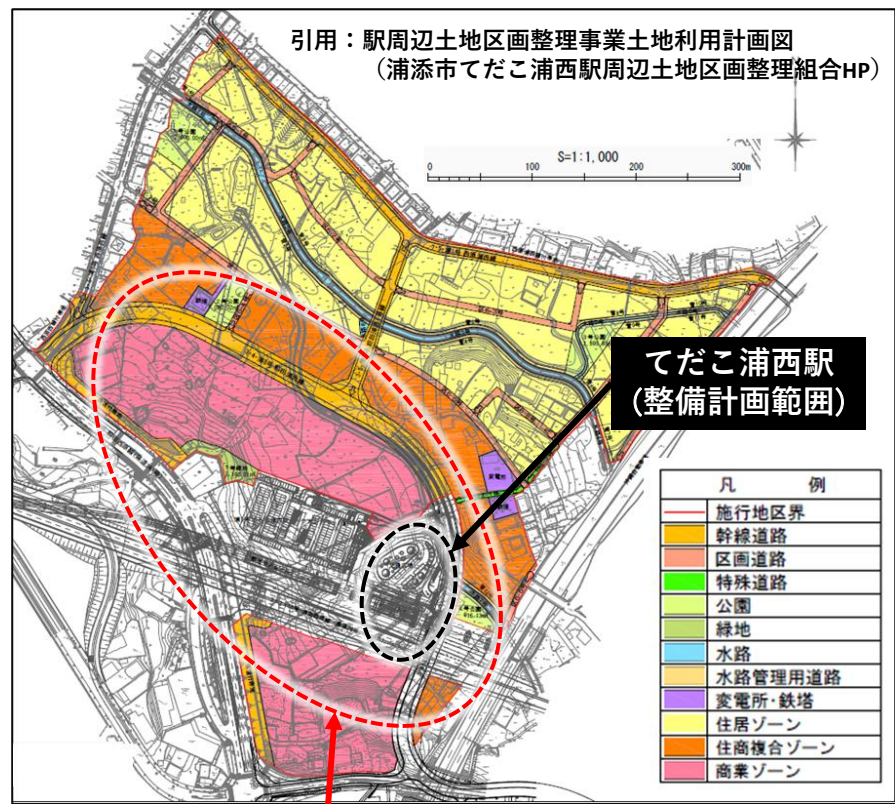
3-1. 整備計画対象範囲（補足：コンパクト＋ネットワーク）

- ▶ てだこ浦西駅は「地域の拠点」と「広域交通の拠点」の両方の機能を必要とする交通結節点であるため、**3つの機能（交通・拠点・ランドマーク）は等しく重要な機能**となる。
- ▶ 整備イメージの検討においては、駅前空間だけでなく、駅周辺エリア（整備計画範囲外）も含めた「空間の共有」及び「機能の連携」、また**人の集積による賑わい創出と交通網の強化（コンパクト＋ネットワーク）**の観点を踏まえたものとする。

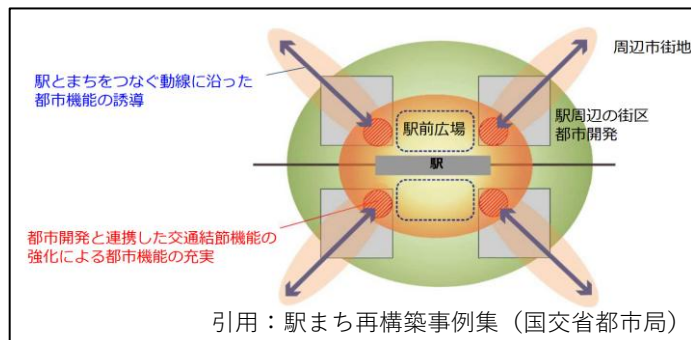
■コンパクト＋ネットワークの考え方



■整備計画範囲と駅周辺エリア



■周辺街区と連携した都市機能強化や空間の活用イメージ



※駅周辺は主に**商業（住商複合）ゾーン**として利用計画されている

⇒ 既に一部箇所で商業施設やクリニック、保育施設、レンタカー事業所が開業中。

3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-2. 短期的な整備内容

前回（第2回）検討会資料から変更なし

交通（乗換）機能

- 駅構内・交通広場・駅周辺での乗換案内充実
- レンタカー機能配置
- P&R駐車場、駐輪場等の改善・強化
- モノレール&バスの結節強化の取組推進

拠点形成機能

- 日常的な飲食・休憩施設の提供
- にぎわい・交流イベント等の定期開催

ランドマーク機能

- 情報発信機能（観光案内・災害情報）の提供
- 安全・安心の確保

高架下（案） 駅前広場からのイメージ

浦添西原バイパス（高架）

高架下案は p.16~18参照

交流・憩い施設

レンタカー受渡

大規模広場空間

レンタカー受渡場所

デジタルサイネージ（乗換案内等）

情報発信（観光案内・災害情報等）

事例写真：JR岐阜駅

P&R近隣利用者の公共交通へのシフト策推進

定期的なイベント開催

ゆいレール祭りの様子（2024.11.25）

日常的な飲食（キッチンカー等）

事例：敦賀市国道8号（引用：ほこみちプロジェクトHP）

カーシェア等の取り組み

てだこ浦西駅P&R駐車場

3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-3. 中長期的な整備内容

交通（乗換）機能

前回（第2回）検討会資料から変更なし

- 周辺バス路線を集約し、モノレールとの接続を強化、待合環境整備
- モビリティハブの整備
- P&R駐車場、駐輪場の受入環境強化

中長期的には周辺バス路線の駅前広場乗入れを行い、モノレール、多様なバス路線、モビリティ間の乗り換え利用者増に繋げる

バス乗り場（バス停集約）



周辺の高速、路線バス等の駅前広場乗入れ



既存バス乗り場

①乗り場	②乗り場	
系統	路線名	事業者
233	西原てだこ線	那覇バス
256	浦添てだこ線	琉球バス
294	てだこ琉大快速線	那覇バス
297	沖縄琉大快速線	那覇バス
47	那覇てだこ線	那覇バス

新設バス乗り場（周辺バス乗り入れ）

③乗り場	④乗り場	⑤乗り場
系統	路線名	事業者
111	高速バス	琉球バス、那覇バス
113	具志川空港線	琉球バス
117	高速バス	琉球バス、那覇バス
123	石川空港線	琉球バス
127	屋慶名・高速線	沖縄バス
152	イオンモール沖縄ライカム（高速線）	琉球バス
25	那覇普天間線	那覇バス
56	浦添線	琉球バス
97	琉大線	那覇バス
125	普天間空港線	那覇バス
333	那覇西原線（末吉経由）	那覇バス

既存4系統に加え
計15系統乗入れへ